



## クレマチス (Clematis) の園芸品種

クレマチスという名は“ブドウなどのつる”を意味するギリシア語 *klemal* に由来。この仲間は、テッセンやカザグルマのような大輪の花だけでなく、いろいろな形や大きさの花をつける。写真は、北アメリカ原産のクレマチス・テキセンシスを交雑の片親とする“テキセンシス系”と総称される園芸品種の一つ。花は赤紫色で、チューリップのような形になる。 撮影：碓井俊昭さん（平成16年度私の植物写真展応募作品）

## クレマチス

4～6月のサンライトホール企画展

話題の植物

カクチョウラン / サトザクラ

活動報告

平成16年度研究発表展 ほか

研究紹介

アズマヤマアザミに雄株はあるか？



ドリラス

# クレマチス *Clematis*

クレマチスの仲間は温帯を中心に、ほぼ世界中に分布しています。多くはつる性ですが、直立性のももあります。大輪のものから小さな花をたくさんつけるもの、うつむいたベル型のものまで、花の形は変化に富んでいます。ふつう花弁はなく、がく片が花弁状に発達します。がく片の数は4枚、6枚、8枚など。花が終わるとめしべが伸び、しばしば羽毛状になります。

ヨーロッパでは地中海地方原産のクレマチス・ピチセラ (*Clematis viticella*) や中央～東ヨーロッパのクレマチス・インテグリフォリア (*C. integrifolia*) などが栽培されていましたが、19世紀に東アジアから大輪のカザグルマ (*C. patens*) やクレマチス・ラヌギノーサ (*C. lanuginosa*) などがイギリスに導入されました。これらの中で交雑が行われ、たくさんの園芸品種が作り出されています。



中央植物園のクレマチス園。色とりどりの園芸品種のほか、日本産および外国産野生種を含む約220種類のクレマチスが植えられている。もっとも多くの種類が咲きそろうのは5月から6月にかけて



クレマチス・フランムラ *Clematis flammula*



コウヤハンショウヅル *C. obvallata*



クレマチス・テキセンシス *C. texensis*



シロバナハンショウヅル *C. williamsii*



テッセン *Clematis florida*



クレマチス・ヘラクレイフォリア  
*C. heracleifolia*



‘ダッチェス オブ エディンバラ’  
*C. Duchess of Edinburgh* ’



‘フラウ ミキコ’  
*C. Frau Mikiko* ’



‘スノーフレーク’  
*C. montana* ‘Snowflake’



‘ドクター ラッペル’  
*C. Doctor Ruppel* ’



‘ニオベ’ *C. Niobe* ’



‘ヘンダーソニー’  
*C. integrifolia* ‘Hendersonii’



‘ジャックマニー’ *C. Jackmanii* ’



‘マダム ジュリア コレボン’  
*C. viticella* ‘Madame Julia correvon’



‘エトワール バイオレット’  
*C. viticella* ‘Etoile Violette’

## 4～6月のサンライトホール企画展

### 企画展 桜の新種 ホシザクラ

4月1日(金)～4月27日(水)

中央植物園の大原隆明主任によって東京都の多摩丘陵で発見され、このほど新種として発表されたホシザクラ (*Prunus tama-clivorum* Oohara, Seriz. & Wakab.) について、全国に先駆けてその形態の特徴や分布、生態的特徴などをパネルと写真で紹介します。八王子市の許可を得て採取した実物の花枝や樹幹なども展示します。ほかに、富山県内でみられるサクラの野生種をパネルで紹介。



### 特別展 野生ラン展

5月3日(祝)～5月5日(祝)

富山県蘭協会と中央植物園の主催で、エビネやフウラン、ヒナラン、イワチドリなど日本の野生ランのほか、原種の洋ランなど、300鉢あまりを展示します。2月の「蘭まつり大会」での華麗な洋ランの展示とはまた違った、清楚な美しさをご堪能ください。

なお、関連行事として、5月3日の午後1時から、観察会「ランの花のつくり」を開催します(要申込)。



### さつき展

6月3日(金)～6月15日(水)

ふつうのツツジ類より遅れて、5～6月に見頃を迎えるのがサツキです。サツキにはいろいろな花色の園芸品種がありますが、これらは関東以西の川岸などに自生するサツキと、鹿児島県南部に自生するマルバサツキなどとの交雑によって生み出されたものです。

今回は宮崎雄峰氏のコレクションと地元「寿さつき会」のサツキ盆栽を展示します。また、6月5日(日)と11日(土)には宮崎氏による講演会が行われます。



## カクチョウラン

*Phaius tankervilleae*  
(Banks ex L Her.) Blume

花茎は1m以上になり、日本産では最大のラン科植物です。種子島以南に自生しますが、自生地では個体数が減少し、絶滅危惧植物に指定されています。現在、中央植物園ではバイオテクノロジーの技術を用いて種子からの繁殖と保存を行っています。和名のカクチョウランは漢字では「鶴頂蘭」と書き、鶴に因んでつけられた名前です。花弁の色素が抜けた品種

‘金閣’もあります。

(主任研究員 神戸敏成)



花の姿を鶴に見立てて名前がつけられたカクチョウラン（鶴頂蘭）。長く伸びた花茎に径10cmほどの花をつける。右は品種の‘金閣’

## サトザクラ

*Prunus lannesiana*( Carriere ) E. H. Wilson

ソメイヨシノの花が終わり、1週間ほどするとサトザクラが開花し始めます。「サトザクラ」とは1つの品種を指すものではなく、一般にオオシマザクラがもとになってできたサクラの栽培品種の総称として使われています。今回は園内で見られるサトザクラをいくつかご紹介します。

‘鬱金（うこん）’は花弁がクリーム色で八重咲きの品種。‘御衣黄（ぎょいこう）’は鬱金に近縁な品種で、花弁が黄緑色をしています。‘一葉（いちよう）’は雌しべが1本で、その下半分が緑色の葉に変化していることからこの名がつけられたといわれています。

園内には花のプロムナードを中心に約30品種のサトザクラがあります。

(主任研究員 山下寿之)



[上] サトザクラ ‘鬱金’ / [下] 花のプロムナード南側にあるサトザクラの並木

### 平成16年度研究発表展

植物園スタッフの研究成果を紹介する展示が、2月4日から23日までサンライトホールで開かれました。ミコシガヤなど15種の植物が県内で新たに発見されたという報告や、中国雲南省の昆明植物研究所と共同で行ったマメ科植物の研究など、9件がパネルで紹介されました。

発表テーマ：「富山県中央植物園に植栽されたウメの生物季節学的研究」山下寿之、「富山県で新たに生育が確認された植物（8）」大原隆明、「絶滅危惧種ミズネコノオとミズトラノオの染色体数」中田政司、「富山県で記録されたキノコ（9）」橋屋 誠、「アズマヤマアザミの雌性両全異株性」志内利明、「タケ類の葉の表皮構造」高橋一臣、「沖縄島に導入されたタイワ



ンハンノキの染色体数」兼本 正、「植物成長調整物質が中国雲南省産 *Lysinotus pauciflorus* Maxim. のカルス誘導及びカルスからの再分化に及ぼす影響」神戸敏成、「日中共同研究報告 中国雲南省のナツフジ属植物（2）」大宮 徹

### 富山県蘭まつり大会

富山県蘭協会と中央植物園の主催で2月25日から27日までサンライトホールで行われ、3日間で9,488人の来場者がありました。県蘭協会の会員らが丹精こめて育てたカトレヤやコショウラン、シュンランなど400点が出品されたほか、ランの鉢物や切花などの即売コーナーも設けられ、会場はランの花で埋めつくされました。最高賞の県知事賞には金坂雅人さんのカトレヤ・オーランティアカ、県蘭協会長賞には岡田拓郎さんのシュンラン「女雛」が選ばれました。



### 私の植物画展

植物の姿を科学的に正確に、かつ芸術的に描くボタニカルアートの作品展が、3月4日から30日までサンライトホールで開催されました。この展示は、植物画講座の受講生などの1年間の成果を披露する場として始まったもので、今年で10回目。近年では県内はもとより北海道や東京など全国各地から作品が多数寄せられるようになり、今回は128点の応募がありました。



## アズマヤマアザミに雄株はあるか？

技師 志内 利明

ヒトには男と女、つまり雄の個体と雌の個体の2つの性があります。では、植物の場合はどうでしょうか？ これが実に多種多様で、ヒトと同じように雄株と雌株があるものから、両性花（雄と雌の機能を持つ花）をつける株だけがあるもの、両性株と雌株があるもの、両性株と雄株があるもの、若いときには雄で年数が経ち大きくなると雌になるものなど、種によって様々です。

富山県の山間部の道沿いには比較的多くのアズマヤマアザミ（図1）が見られます。アザミの仲間の花は、基本的には一つの花に完全な雄しべと雌しべをつける両性花がほとんどと思われていました。ところが、岐阜大学の川窪（1996）による研究で、日本に自生するアザミ属の半数近くの種が、両性株に加えて花粉をつくらない雌株をもつ“雌性両全異株”であることが分かりました。アズマヤマアザミも雌性両全異株であることが確かめられています。

ところで、私は以前から、植物調査のおりアズマヤマアザミにあまり種子をつけない個体を見かけていました。種子をつけないとなると、アズマヤマアザミには両性株と雌株だけでなく、

雄株があることになります。そこで、簡単な調査を行ってみました。アズマヤマアザミの2つの集団で花の時期と種子が実った時期にサンプルを採り、花の各部を計測し、さらに花粉の有無、種子の稔実を調べてみました。その結果、川窪（1996）の指摘通り、アズマヤマアザミには花粉を作らない雌株があり、雌株の花の各部分のサイズは、両性株の花に比べて、子房を除いて小さくなる傾向があることが分かりました（図2）。花が小型化するのには、両性株から雌株を分化した他の植物でも見られる一般的な現象です。

一方、種子の稔性はというと、これが正確なデータがとれませんでした。というのも、2004年の夏から秋は異常なまでに台風が日本に上陸した年で、北陸地方も例外ではありませんでした。そのため調査地の1つは道が崩落してたどり着けなくなり、もう1つの集団では種子のサンプルはとれたものの、痛んだものが多く、実っているとの判断が難しいものがたくさんありました。多年草では、株の調子が悪いときには種子をつけるのをやめ次の年に備えることがあるので、短絡的に種子ができていないからといって雄株だとは言い切れません。結局、当初の目論みの雄株の存在ははっきり



図1 アズマヤマアザミ *Cirsium microspicatum*



図2 両性株の花（左）と雌株の花（右）

と分からずじまいとなりました。それでも、集団により雌株の割合がかなり変動することや、雌株の花の形態的な特徴をつかむことができました。

## これからが見ごろの植物



ハマナス 5月  
海岸の植物



ヤマボウシ 5月  
クリ・コナラの森



アヤメ 5月  
山地草原

## イベント案内

### 夜間開園

#### ゲッカビジン観賞

日 時：6～7月の開花日（2晩） 19:00～21:30  
（入園は21:00まで）

場 所：サンライトホール

入園料：200円（7月1日以降に開催の場合は300円）

サンライトホール展示 入園料が必要

企画展 桜の新種ホシザクラ 4月1日（金）～4月27日（水）

特別展「野生ラン展」5月3日（火・祝）～5月5日（木・祝）

さつき展 6月3日（金）～6月15日（水）

私の植物写真展 6月24日（金）～7月20日（水）

#### 観察会、講座・講習会

##### みどりの日 植物園ガイド

日 時：4月29日（金・祝）10:00～15:00

場 所：屋外展示園（集合：サンライトホール）

参加費：入園料が必要

##### 観察会「ランの花のつくり」 要申込

日 時：5月3日（火・祝）13:00～15:00

場 所：実習室

参加費：無料

定 員：24名

##### 県民カレッジ連携講座「第24回植物画講習会」 要申込

日 時：5月21日（土）～22日（日）10:00～16:00

場 所：研修室

講 師：豊田路子・岡田宗男（フェアリーリングの会会員）

参加費：500円（画材料）

定 員：50名

##### 植物写真教室「やさしい花の撮り方」 要申込

日 時：5月29日（日）13:00～16:00

場 所：研修室・園内

講 師：富山県写真家協会員

参加費：無料

定 員：50名



### 講演会「サツキの魅力 / サツキ盆栽の芸術性（仮題）」

日 時：6月5日（日）6月11日（土）13:00～15:00

場 所：ドリアスホール

講 師：宮崎雄峰

参加費：入園料が必要

#### 月例行事

##### 日曜植物案内

開催日：5月1日（日）6月5日（日）7月3日（日）

時 間：11:00～12:00

参加費：入園料が必要

##### 植物園オリエンテーリング

開催日：4月17日（日）5月15日（日）6月19日（日）

受付時間：10:30～11:30

参加費：入園料が必要

**要申込** このマークの講座・講習会は事前の申込が必要で  
す。申し込みは開催の一ヶ月前から「往復はがき」で受け付  
けています。

## 入園料金の値下げについて

富山県中央植物園では、4月から6月までの3ヶ月間、試験  
的に入園料金を600円から400円に値下げします。期間中  
は、サクラ、ボタン、クレマチスなど植物園がもっとも多くの  
花々で彩られる季節です。この機会にぜひご来園ください。

実施期間 平成17年4月1日（金）～6月29日（水）

入園料 一般・大学生 400円 20名以上の団体は320円  
高校生以下は通年無料

## 友の会会員募集中！

富山県中央植物園友の会は、中央植物園を中心に植物の観  
察・学習などを行い、植物についての知識を深めるとともに、  
植物園の諸活動に協力することを目的とした会です。

**特典** 会員証を示しサインするだけで入園できます。 / 会報  
や植物園だよりが送られてきます。 / 多彩な友の会の行事に参  
加できます。 / 印刷物を割引で購入できます。

**会費** 年額3,000円（5月以降、新規に加入される方は初  
年度会費の割引を受けられます）

**入会方法** 植物園の入園窓口で随時受け付けています。

**有効期間** ご入会の日から翌年の3月31日まで。

**問合せ先** 富山県中央植物園友の会事務局

TEL. 076-466-4187

## 開園時間・休園日のご案内

開園時間（2月～10月）

9:00～17:00（入園は16:30まで）

休園日 毎週木曜日（祝日の場合は開園） 年末年始

5月5日（木・祝）は開園します